校 訓
「 耕 心 」 それは飽くことなき文化への憧れと創造を意味する それは豊かな人間性の開発を意味する それは強い意志の鍛錬を意味する そして それは人生への日々の新たな希望と喜びとの指標でもある

本校の教育目標
1 高い志を持ち、自ら意欲的に学ぶ生徒の育成 2 情操豊かで、心身ともに健全な品格ある生徒の育成 3 社会性を身につけ、地域を支える人材の育成

生徒の実態、教師の願い
○挨拶の励行 ○魅力ある専門教育の推進 ○寮教育でのより高い人間性の育成

保護者や地域の願い
○挨拶の励行 ○地域振興や発展に寄与できる農業 ○地域貢献、地域共生、地域連携

「志教育」の目標
『夢や志を持った生徒の育成』 ・様々な体験をとおして、豊かな価値観を育む。 ・経験の蓄積から困難を乗り越える自信を持たせる。 ・具体的な進路目標の実現に向かって努力させる。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
○様々な人とのかかわりを通して、豊かな人間性を育み、社会力を育成する。 ○ 高校生としてふさわしい、品位（身だしなみ・言葉遣い・ふるまい）、思いやりと責任のある言動ができる生徒を育成する。	○体験的学習をとおして、困難に負けない体力と逞しい精神力を培い、次代を生き抜く知恵と技術力を育成する。 ○外部講師活用等、進路に対する明確な目的を持ち意欲的に取組む姿勢を育成する。	○ ボランティア活動等をおとして、集団や社会における自己の役割・課題を知り貢献できる人材を育成する。 ○知徳体のバランスが取れた、考えて行動が出来る人材を育成する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	・各教科の学びと社会人講話や企業見学によるキャリア教育の視点を持たせ、志を持った主体的な学習態度を身に付けさせる。 ・各教科の基礎的・基本的な知識と技術の定着を図り、実験や実習時に協力し物事に取り組む姿勢を養う。
道徳	・寮教育等集団生活をおとして、自分自身及び他者との関係において主体的に行動できる生徒を育成する。 ・専門教育をおとして、未来に向けて人生や社会を切り拓いていこうとする道徳的実践力を高める。
／総合的な学習の時間	・様々な職業の社会的役割や意義を理解させるとともに自ら課題を設定し、調査や研究等の過程において進路希望の実現と将来設計に結び付けた研究を実践し、いま取り組むべき学習や活動を理解する。
特別活動	・学校行事や生徒会諸活動をおとして、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする公共の精神を育成する。
その他	・寮教育を通して、新しい環境への適応力や他者と望ましい人間関係を構築するコミュニケーションスキルの基礎を習得する。 ・総合実習や課題研究の専攻班活動をおとして自分の果たすべき役割を自覚し、チームを組んで仕事ができる能力を育成する。

各学年の取組内容	
1年	①義務入寮（2週間） 生活習慣の定着、自律心、協調性の育成 ②目標達成型自己管理プログラム（一年間） ③学校見学会 ④社会人インタビュー（夏季休業中の自主学習） ⑤インターンシップ報告会（2年生から1年生へ） ⑥企業見学事前学習～企業見学～事後学習（3日間） ⑦先輩に学ぶ（3年生から1年生へ） ⑧インターンシップ事前準備講習
2年	①社会人講話 ②インターンシップ（全員：2日間） ③進路別講習会 ④インターンシップ報告会（2年生から1年生へ） ⑤業界・業種・企業研究学習 ⑥先輩に学ぶ（3年生から2年生へ） ⑦自己啓発セミナー（6時間） ⑧進路決定シミュレーション
3年	①面接マナー講習 ②進学・就職オリ（求人票見方・履歴書記入等） ③全職員による面接指導週間 ④就職達成セミナー ⑤オープンキャンパス・応募前見学 ⑥地元経営者による面接指導講習会 ⑦入社準備セミナー（計4回） コミュニケーション能力開発を目的としたワーク形式 ⑧先輩に学ぶ（1年・2年生へ講師として）

家庭との連携（活動例、3年度は感染状況により変更予定）
・ P T A 活動の活発化 ・ 学校行事、寮活動への参加 ・ 文化祭（加美農祭）への参加 （・ 国際交流事業（ホームステイ）協力）

地域・企業との協働
・ ロータークラブ模擬面接会の実施 ・ インターンシップ、応募前見学の実施 ・ 企業技術研修会への参加と外部団体との商品開発 ・ 地域イベントへの参加 ・ みやぎ県民大学